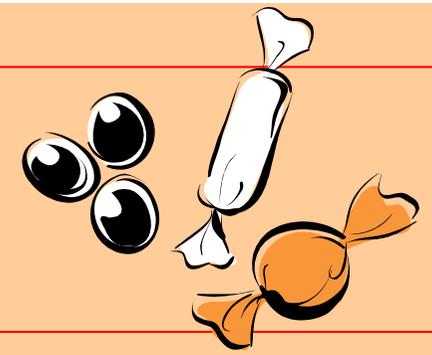


第16回こずえサロン
早春の歌の会



2010年3月14日

今日は何の日



ホワイトデー

2月14日のバレンタインデーにチョコレートを贈られた男性が返礼のプレゼントをする日。

バレンタインデーのチョコレートに対しキャンデーやマシュマロをお返しするのが一般的になっている。

ホワイトデーを3月14日に定めたのは、

269年2月14日、兵士の自由結婚禁止政策にそむいて結婚しようとした男女を救う為、バレンタイン司教が殉教し、その一カ月後の3月14日に、その2人は改めて二人の永遠の愛を誓い合ったと言われていることに由来する。



3月 弥生

弥生(いやおい)が変化したものとされる

弥(いや) - 「いよいよ」「ますます」などの意味

生(おい) - 生い茂る。草木が芽吹くこと

3月は草木がだんだん芽吹く月であることから**弥生**となった。



3月生まれの有名人

1日



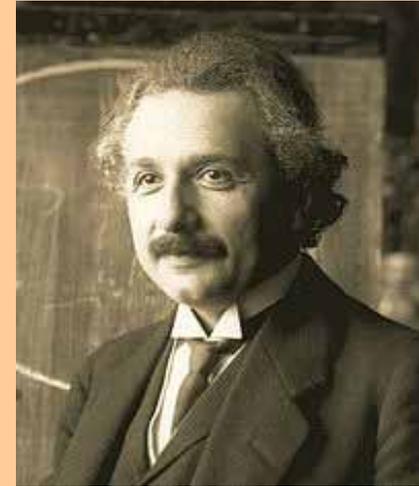
芥川龍之介 1892

10日



渥美清 1928

14日



アインシュタイン 1879

13日



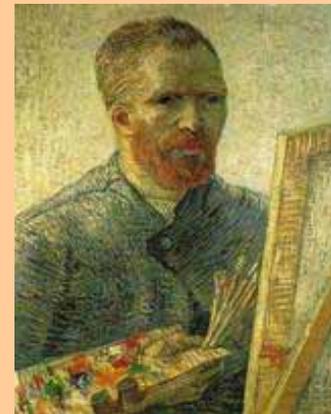
吉永小百合 1945

25日



島崎藤村 1872

30日



ゴッホ 1853

10日



徳光 和夫 1941

3月の誕生石

アクアマリン

象徴： 聡明・勇敢

その語源は、ラテン語の「水」を示す「アクア」と「海」の「マリン」に由来しています。

ダークブルーな色ほど評価されています
むかしから、この石を身につけていると
先見性が生まれるだけでなく
幸福と若さを保つとされています。

産地： ブラジル・スリランカ



もうすぐ春ですね

さて「春」と感じるものは何ですか





早春賦

若菜一節

一 春は名のみの風の寒さか
谷の寒 鉄は凍るべし

時じあふすべし 風も吹ゆべし
時じあふすべし 風も吹ゆべし

二 氷解けたり春は寒さか

あつは時あふべし 凍るもなほ
今日もあついま 春の空

今日もあついま 春の空

三 春と聞かぬは名らどありしを

聞けば急がるる胸の思を
いかにせよとの しの頬が
いかにせよとの しの頬が



吉丸一昌(1873 ~ 1916)作詞

- 東京音楽学校(現東京芸大)教授で文部省唱歌の編さん委員であった、自ら作ったこの詩を「新作唱歌」全10集の中で発表。さらば故郷

「故郷を離るる歌」 ドイツ民謡 吉丸一昌作詞

そのの小百合なでしこ垣根の千草
今日はなれを眺むる おわりの日なり
思えば涙 膝をひたす さらば故郷
さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば



中田 章(1886 ~ 1931)作曲

オルガン奏者・作曲家

「夏の思い出」などを作曲した中田喜直
(1923 ~ 2000)の父である。

早春賦の歌碑



長野県大町市にある大町市文化会館の前庭に完成しました。

早春賦

吉丸一昌

一 春は名のみ風の寒さや
谷の鶯 歌は思えど
時にあらずと 声も立てず
時にあらずと 声も立てず

二 氷解け去り葦は角ぐむ
さては時ぞと 思うあやにく
今日もきのうも 雪の空
今日もきのうも 雪の空

三 春と聞かねば知らでありしを
聞けば急かるる胸の思を
いかにせよとのこの頃か
いかにせよとのこの頃か



似ているかな

「早春賦」の冒頭のメロディー

ソドーミソード ドーラ

ソドーミソード ドラドソ

「知床旅情」の冒頭のメロディー



「知床旅情」 森繁久弥作詞・作曲

知床(しれとこ)の岬に
はまなすの咲くころ
思い出しておくれ 俺たちのことを
飲んで騒いで 丘にのぼれば
遥(はる)か国後(くなしり)に
白夜(びゃくや)は明ける



昭和34年ごろ森繁プロの第1回作品「地のはてにいきるもの」で北海道知床に長期ロケをしたさい、森繁久弥が即興で作った「オホーツクの舟歌」がもと歌である。その後「知床旅情」と改めた。44年加藤登紀子がフォークタッチに直し発売。ヒット

どちらもモーツァルトのメロディーに似ているのでは

- 春への憧れ (K596) モーツァルト作曲

五月の歌

ドドーミソード

この曲は“五月歌”の名で、小学校高学年になると音楽の時間で教えられる小学唱歌として広く親しまれていました。

楽しや五月 草木は萌え
小川の岸に すみれ匂う
やさしき花を 見つつ行けば
心も軽し そぞろ歩き

もとは親しみのある曲・・・？

春への思いが込められた歌詞となっていますが、
詩のテーマが似ているだけでなく、
そのメロディーも酷似していることは非常に興味
深い偶然の一致です。？？？
果たして本当に偶然の一致なのかは、神のみぞ
知るところでしょう

ソドーミソード





はるよこい

作詞: 相馬 御風
作曲: 弘田 龍太郎

1. 春よ来い 早く来い
あるきはじめてた みいちゃんが
赤い鼻緒(はなお)の じょじょはいて
おんもへ出たいと 待っている

2. 春よ来い 早く来い
おうちの前の 桃の木の
蕾(つぼみ)もみんな ふくらんで
はよ咲きたいと 待っている



春よ、来い

松任谷由美



1994年(H7)、NHK TVの朝の連続ドラマの主題歌として流れ、ヒットしました。

はるよ、こい)は、NHKが1994年10月3日から1995年9月30日まで放送した連続テレビ小説で、原作者橋田壽賀子の自伝小説作品。

春よ、来い

松任谷由美

1) 淡き光立つ 俄雨(ニワカアメ)

いとし面影(オモカゲ)の沈丁花(ジンチョウゲ)

溢るる涙の蕾(ツボミ)から

ひとつ ひとつ香り始める

それは それは 空を越えて

やがて やがて 迎えに来る

春よ 遠き春よ 瞼(マブタ)閉じればそこに

愛をくれし君の なつかしき声がある



[春よ、来い\(歌詞付き\)](#)

2) 君に預けし 我が心は

今でも返事を待っています

どれほど月日が流れても

ずっと ずっと待っています

それは それは 明日を越えて

いつか いつか きっと届く

春よ まだ見ぬ春 迷い立ち止まるとき

夢をくれし君の 眼差が肩を抱く



3) 夢よ 浅き夢よ 私はここにいます

君を想いながら ひとり歩いています

流るる雨のごとく 流るる花のごとく

春よ 遠き春よ 瞼閉じればそこに

愛をくれし君の なつかしき声がある

春よ まだ見ぬ春 迷い立ち止まるとき

夢をくれし君の 眼差しが肩を抱く



どこかで春が 作詞: 百田宗治 作曲: 草川 信

- 1 どこかで春が うまれてる
どこかで水が 流れ出す
- 2 どこかでひばりが ないている
どこかで芽のでる 音がする
- 3 山の三月 東風(こち)吹いて
どこかで春が うまれてる



河津さくらと菜の花

松田町のさくら祭りより



朧月夜



菜の花ばたけに、入り日薄れ
見わたす山の端(は)、かすみふかし
春風そよぶく、空を見れば
夕月かかりて、におい淡(あわ)し

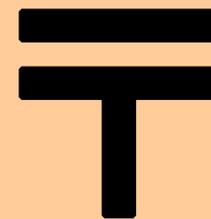
里わの火影(ほかげ)も、森の色も
田中の小路(こみち)を、たどる人も
蛙(かわず)のなくねも、かねの音も
さながら霞(かす)める、朧月夜

この広い野原いっぱい

(1) この広い野原いっぱい 咲く花を
一つ残らず あなたにあげる
赤いリボンの 花束にして



(4) この広い世界中の 何もかも
一つ残らず あなたにあげる
だから私に 手紙を書いて
手紙を書いて



花

瀧廉太郎

春のうららの 墨田川
のぼりくだりの 船人が
櫂のしずくも 花と散る
ながめを何に たとうべき

見ずやあけぼの 露あびて
われにももの言う 桜木を
見ずや夕ぐれ 手をのべて
われさしまねく 青柳を



錦おりなす 長堤に
暮るればのぼる おぼろ月
げに一刻も 千金の
ながめを何に たとうべき

打楽器 花祭り

原題は「ウマウアカの人」という意味です。
ウマウアカは、アルゼンチンの北部の渓谷です。

歌詞の内容も、ウマウアカのカーニバルで楽しもうという内
容

打楽器でリズムに乗って行きましょう。



切手のないおくりもの

* 私からあなたへ
この歌をとどけよう
広い世界にたった一人の
わたしの好きなあなたへ

* 知りあえたあなたに
この歌をとどけよう
今後よろしくお願いします
名刺(めいし)がわりに
この歌を



* 別れゆくあなたに
この歌をとどけよう
さびしい時に
歌ってほしい
遠い空からこの歌を

ララララ.....

ララララ.....

ララララ.....

いかがでしたか

* 次回のこずえサロンは10月頃に
ヴァイオリン演奏を予定しています。
またどうぞお出かけくださいませ。

See you again!

2010年3月14日





それでは・・・お元気で！

Nice to meet you !

GOOD-BYE
GOOD-BYE

さようなら！

